

うきは

市議会だより

令和8年度予算 特別委員会の**大審査!**

当初予算をめぐって議論!!
さあ、どうだった?

初! 代表質問!

上水道整備
「地下水源活用を前提とした
方向性」とは?

浮羽町域学校再編
基本構想、策定!

総合計画はじめ、
市の様々な計画が改訂!
全力でチェ〜ック!

構造的な課題への取組が
図られることを願う!

「うきは市の
今後の農業施策は?」
「浮羽究真館高校活性化支援策&
高校生世代の支援策は?」

農業はじめ本市の産業、
これからのビジョンは?
スピード感は?

議会運営もよりよき形を
目指して改善!
政務活動調査費などの
見直しを実施!

CONTENTS

- ・臨時会 / 定例会 P2~P3
- ・予算特別委員会 P4~P7
- ・一般質問 P8~P10
- ・総務産業常任委員会報告 P11
- ・厚生文教常任委員会報告 P12
- ・各種委員会 P13~P15
- ・市民の声 P16

令和8年3月末現在の人口

26,710人



1月臨時会 令和8年1月26日(1日間)

▶▶上程された議案…2件

① 専決処分… 少人数指導特別教員の給与等に関する条例の一部改正
県の改正にうきは市としても合わせるもの

② 一般会計補正予算
(総額4億2,118万2千円の増額)の主なもの

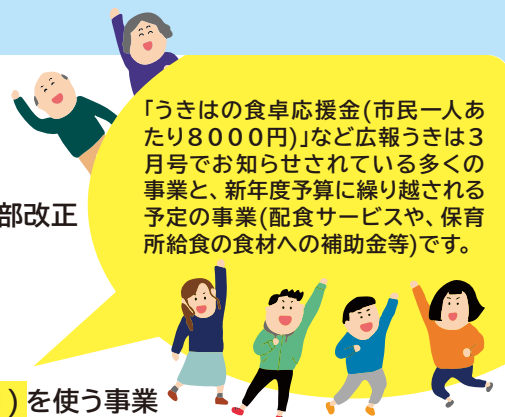
① 物価高騰対応(重点支援地方創生)臨時交付金(約4億円)を使う事業

② 最高裁判決を受けて施行される生活保護費の適正化及び追加給付の実施に伴う、国の支出金及び市の負担金(4分の1)を計上

※提案された予算のうち、物価高騰対応の主旨にそぐわない事業分の460万円を、議員10名の提案で削除

理由 防犯・防災対策と防災行政無線受信機や飲食用備蓄品への支出は当初予算で対応すべきである

「うきはの食卓応援金(市民一人あたり8000円)」など広報うきは3月号でお知らせされている多くの事業と、新年度予算に繰り越される予定の事業(配食サービスや、保育所給食の食材への補助金等)です。



3月定例会 令和8年2月27日~3月23日(25日間)

▶▶議案…29件

今議会は、次年度の予算審議(詳細はP4~7)のほか、今年度の補正予算(一般会計や2つの特別会計と下水道事業会計)と、人事案件(1件)、計画や戦略・基本構想(7件)、条例の改正(6件)などが審議・承認されました。

主な補正予算(支出) 実績値による減額補正が多い中で、支出の増額は…

移動式授乳室 → 市役所西別館に配置する。(国が1/2、市が1/2)	328万円
多面的機能支払交付金 → 農地に関連する計画的な長寿命化(水路の補修)への交付金。(国が3/4、市が1/4)	827万円
耐震性点検・耐震化対策整備計画策定委託料及びため池劣化状況評価業務委託料 → 農業用ため池劣化に対する点検、評価、整備計画策定。(県が10/10、R8へ繰越)	1,800万円
ため池等整備事業負担金 → 市債で賄うが70%が交付税措置される。	900万円
橋りょう補修工事費 → 沖出橋橋台の洗掘の補修費用に国の補助金(約45%)が付いた。	2,200万円

その他、主な質疑は…

空き家バンク活用促進補助事業 → 自治協による斡旋の実績がなく、周知が課題。	△50万円
移住支援事業費補助金 → 実績なし。R8では対象を拡大し、継続。	△200万円
地域おこし協力隊員関係費用 → 森林資源活用プランナーへ応募なし。次年度は別の形で林業への関わりを考えたい。	△450万円
新エネルギー対策費 → 事業費の確定や工事の一部見直しにより激減するが、R8年度への繰越額も1億9,835万円とする。	△3億5,102万円
子ども医療対策費(高校生世代までの無償化) → R6年度比で約300万円/月の増加なので、予算に比べて確実に減る分を減額。	△2,670万円
小学校のタブレットパソコン購入費 → 余剰分減額。(予備機202台保有)	△1,816万円

人事

教育委員(新任) のがみ あきなり 野上 晃成さん 任期：R8年4月1日~R9年5月23日



審議結果



議案等番号	件名/内容	議決結果
議案第3号	専決処分の承認について（令和7年度一般会計補正予算（第7号）衆議院議員選挙費）	承認
議案第4号～7号	令和7年度 補正予算…主なものは右ページに記載 一般会計（第8号）、国民健康保険事業特別会計（第4号）、後期高齢者医療事業特別会計（第4号）、下水道事業会計（第5号）	可決
議案第8号～13号	令和8年度予算 一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、市立自動車学校特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計	可決
議案第14号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第15号	辺地に係る総合整備計画の変更について／R8年度の追加分（山間部の施設設備の修理や新設）	可決
議案第16号	第3次うきは市総合計画の策定について／R8から10年間の基本構想と、前期5年間の基本計画	可決
議案第17号	第3期うきは市地方創生総合戦略の策定について／人口減少対策に特化した施策・事業	可決
議案第18号	うきは市過疎地域持続的発展計画（浮羽町域）の変更について／児童生徒数の実数値の記載等	可決
議案第19号	第3次うきは市男女共同参画基本計画の策定について／R8～17年度の10年間の計画	可決
議案第20号	第3次うきは市人権教育・啓発基本計画の策定について／R8～17年度の10年間の計画	可決
議案第21号	うきは市浮羽町域学校再編基本構想の策定について／構想を示し、開校年度はR13年を目指す	可決
議案第22号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可決
議案第23号	久留米市との久留米広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
議案第24号	コミュニティセンターの指定管理者の指定について／再指定するが期間を3年に短縮	可決
議案第25号	鏡田屋敷土蔵の指定管理者の指定について／母屋の指定管理者と同系列の会社を指定	可決
議案第26号	うきは市バス事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議案第27号	うきは市国民健康保険税条例の一部改正について／子ども・子育て支援金分を上乗せする	可決
議案第28号	うきは市教育センター設置条例の一部改正について／西別館からり色ふるさと館へ移動	可決
議案第29号	うきは市子ども・子育て会議条例の一部改正について／庶務の担当が「こどもみらい課」へ	可決
議案第30号	うきは市火入れに関する条例の一部改正について／火入れの中止要件に「林野火災注意報・警報」などが追加されたもの	可決
議案第31号	うきは市産業立地促進条例の一部改正について／交付要件の見直し	可決

議案への賛否（賛成：○、反対：●）

議長（江藤芳光）は賛否が同数の場合にのみ議決に参加します。

議員名	欠員	高木亜希子	高松幸茂	樋口隆三	組坂公明	佐藤裕宣	野鶴修	竹永茂美	岩淵和明	中野義信	佐藤湛陽	伊藤善康	熊懐和明	江藤芳光
議案第27号	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—

岩淵議員の反対意見要旨:保険料率の応能割が15.27%と更に高くなり、均等割・平等割も負担が増え、引き下げを求めてきた者として反対する。

令和8年度一般会計当初予算

184億3,900万円

前年度比2億2,400万円の増(+1.2%)



令和8年度市政運営
(市長施政方針)

7つの柱



- ① 子育てや教育の充実を通じた「こどもまんなか」施策のさらなる推進
- ② 高齢者福祉の充実や外出機会の創出による「いきいきシニア」を増やす施策の推進
- ③ 移住定住促進のための取組強化と新たな産業の誘致
- ④ 農林業の持続的発展に向けた取組の推進
- ⑤ 民間企業や学術機関との連携強化と国際交流の推進
- ⑥ 生活インフラの将来ビジョンを示したうえでの今後の取組の推進
- ⑦ 時代やニーズに合った施策の推進と既存施設の適切な整理や行政サービスの効率化の推進

可決した令和8年度各会計予算

令和8年度
当初予算 ▶



会計名		令和8年度当初予算	令和7年度当初予算	増減額	対前年度比
一般会計		184億3,900万円	182億1,500万円	2億2,400万円	1.2%
国民健康保険事業特別会計		34億7,899万円	36億5,624万円	△1億7,725万円	△4.8%
後期高齢者医療事業特別会計		6億8,326万円	6億528万円	7,798万円	12.9%
自動車学校特別会計		1億6,085万円	1億4,508万円	1,577万円	10.9%
簡易水道事業	収益的収入	8,813万円	6,416万円	2,397万円	37.4%
	収益的支出	6,594万円	6,251万円	343万円	5.5%
	資本的収入	150万円	65万円	85万円	130.8%
	資本的支出	3,726万円	859万円	2,867万円	333.8%
下水道事業	収益的収入	13億4,807万円	13億1,107万円	3,700万円	2.8%
	収益的支出	13億2,073万円	12億9,135万円	2,938万円	2.3%
	資本的収入	8億356万円	5億1,261万円	2億9,095万円	56.8%
	資本的支出	11億4,087万円	8億6,069万円	2億8,018万円	32.6%

令和8年度当初予算の主な事業

新規

文化スポーツ振興

「タカトリグループホールディングス白壁ホール」にグランドピアノ購入

令和8年度から納付されるネーミングライツ料と市民の方からの寄附金を財源に、「タカトリグループホールディングス白壁ホール」に新たなグランドピアノを購入する。

2,157万円



新規

移住・定住促進

採用後に市内居住する従業員を雇用する事業所へ補助金を交付

市外居住者が採用後、市内に居住する場合、その従業員を雇用する市内事業者等（※）に対し、従業員一人当たり50万円の雇用支援補助金を交付する。

※市内事業者および久留米・うきは工業団地の事業所

2,000万円



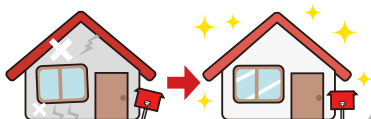
新規

移住・定住促進

実家等の改修をするUターン者へ改修費用最大100万円を補助

一定の条件を満たしたUターン者が定住の目的を持って市内の実家等に転入するために実家等の改修を行う場合、改修費の一部を補助する。

500万円



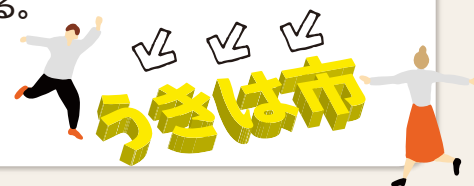
拡充

移住・定住促進

三大都市圏や県外からの移住者に支援金

三大都市圏（東京・大阪・名古屋圏）や県外から移住した者が、就業要件等の条件を満たす場合、移住支援金を交付する。

200万円



新規

教育の充実

小学校の水泳指導を民間委託、教員の負担軽減も図る

市内の小学校プールで実施している水泳の事業を民間事業者に委託する。児童一人当たり年4回の水泳指導を実施。

888万円



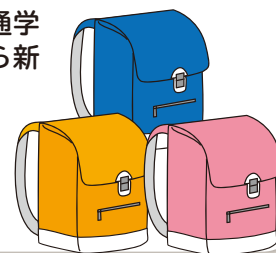
新規

子育て支援

通学用バッグを新1年生に無償配布

ランドセルとしても使える通学用バッグを、令和9年度から新1年生に無償で配布する。

381万円



新規

子育て支援

浮羽究真館高校生に電車やバスの定期代等を補助

通学費支援を行うことで、市内唯一の高等学校である浮羽究真館高校の新入生確保と活性化を図る。

350万円



新規

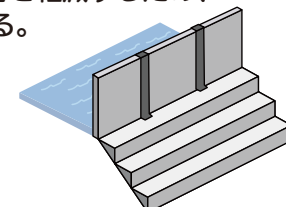
生活支援

住宅に設置する「止水板」の設置費用を半額補助

住宅の床上・床下浸水の被害を軽減するため、止水板の設置費用を補助する。

止水板設置費用の2分の1（上限30万円）

150万円



気になるあのこと！
市長に聞いてみました。

代表総括質疑



農業施策について 岩淵議員

Q 令和8年度予算において、農業費は増額しているものの、その多くは園芸事業の増によるもので、他施策は減少している。施政方針で掲げる持続的発展との整合性については？

A 施設園芸は成長が見込まれる分野であり、補助金が付いて予算配分したものの。限られた財源の中で効果的な施策を選択しており、他の施策も必要に応じて継続しているため、全体として農業の持続的発展には資するものとする。

Q 農業の深刻な課題が進行する中、予算は従来施策の延長にとどまり、特に担い手確保など人的資源対策が不十分と考える。法人や地域組織への新たな人材確保支援が必要ではないか、見解は？

A 担い手確保は重要な課題と認識しており、既存の就農支援や研修制度、関係機関との連携を通じて人材確保に取り組んでいる。法人や地域組織の支援も含め、今後の状況を見ながら必要に応じて補正予算も検討していく。

Q 農業振興審議会の設置に向けた予算措置がない点について伺う。現体制では中長期的な振興策は困難であり、コーディネーター配置など体制強化が必要ではないか。国の施策とも連動し、基幹産業として本格的に取り組むべきと考えるが所見は？

A 現時点では新たな審議会設置の予算措置はしていないが、関係機関や既存の体制の中で意見を取り入れながら農業振興を進めていく。コーディネーター配置などの体制強化については必要性を認識しており、国の施策動向も踏まえ、今後の課題として検討していく。



通学費補助金について

Q 通学費補助のチラシによる効果は限定的であり、継続事業ではなく実証事業として検証すべきではないか。今後の情報発信の在り方や、令和9年度入試結果を踏まえた継続判断については？

A 通学費補助については一定の効果があると考えており、情報発信の工夫を図りながら事業を実施している。今後については、利用状況や入試結果等も踏まえ、その効果を検証しながら継続の可否や制度の見直しを判断していく。

下宿補助金について

Q 減額・廃止方針によりラグビー部を含め生徒数や進路実績への影響が懸念されるため、制度の必要性も再評価し、令和10年度以降も継続すべきでは？

A 下宿補助金については、議員からの意見を受け、事業効果や利用状況、財政状況等を踏まえ見直しを行ったもの。生徒数や学校への影響は注視していくが、制度については当面維持し、今後の状況を見ながら総合的に判断していく。

支援体制について

Q 高校支援のためのコンソーシアム設立において、市が主体的に関与し、実効性ある支援体制を構築する意思がある？

A 高校支援については関係機関と連携しながら取り組んでおり、コンソーシアムについても必要性を踏まえ検討していく。市としても役割を認識しつつ、関係者と協力しながら実効性ある体制づくりに努めていく。



浮羽究真館高校 支援策について 高木議員

あんなこと～

こんなこと～

市長に対する 総括質疑



高松議員

Q 各種補助金への代理受領制度の導入拡大を
考えてはどうか。

A 制度が適正に利用されて受領者へ届いてい
るかが重要である。補助金の性質を見極め
て検討する。



組坂議員

Q 子ども食堂補助事業について、補助の対象
や条件により、実施団体に制約があるの
ではないか。柔軟な運用が必要では。

A 市税による補助事業なので、一定の基準は
必要である。実態に応じて運用の工夫や見
直しは検討していく。

Q 子ども食堂を地域食堂、高齢者配食も含め
て地域福祉の仕組みとして発展させるべき
では。

A うきは市の子ども食堂はあくまで子ども主
体の事業であり、高齢者配食は別事業で取
り組んでいる。



伊藤議員

Q 今後、上水道でなく地下水源を活用してい
くとのことであるが、小石原川ダム負担金の
支払いはどうなるのか。また、久留米・うきは
工業団地まできている導水管の負担につ
いては？

A 小石原川ダム負担金等は水資源機構と協議
する。また、令和8年度から地下水活用の基
本計画策定に着手していく。



竹永議員

Q 子ども食堂補助金の新要綱で参加者に詳細な
個人情報を求めているが、個人情報保護条例
は守られるのか。また、参加しにくくなり利
用者減少につながるのか。

A 補助金の適正な支出を確保するため、必要な
対応として理解と協力をお願いしたい。

Q 入学祝い品（通学用バッグ）は、どんなバッ
グか。使用は強制されるのか。

A 議決後に検討委員会で商品は決める。使用を
強制するものではない。

岩淵議員



国民健康保険税の 改定について

Q 子育て支援を本気で強化するのなら、国庫負
担で対応すべきと考えるが。

A 国の制度の疑義は、全国市長会、福岡県市長
会等へ声を上げていくことが肝要と考える。
しっかりと制度設計し、対応していく。

Q 市民にどのくらい上がるか説明が必要と考
えるが。

A 市民への説明について分かりやすく伝えてい
くよう担当課と具体策を詰めていく。

Q 今回の引き上げにあたり、県内でも保険税の
高いうきは市として、独自の軽減策を講じる
べきではないか。

A 独自軽減は可能だが多額の財政負担を伴うた
め慎重に検討が必要。まずは制度上の課題に
ついて、県との協議の場で意見を発していく。



たかき あきこ
高木 亜希子
議員

今後、空き校舎整備を行い
介護施設誘致（特養）が
考えられないか



住民意見を伺い、あらゆる可能性を模索し、
活用方法を検討する



市長

高木 居宅介護サービスの移動
距離・時間、人員不足等に対する
負担はどう捉えているか。

市長 利用者が点在しているこ
とから、事業所経営や現場職員の
負担となっている。とりわけ訪問
介護におけるホームヘルパー不足
が著しい。

高木 市独自の上乗せでの介護
施設職員の就労就職支援の補助事
業を創設されてはどうか。

市長 国・県の補助制度の動向
を注視し、先進事例も参考にしな
がら、実情に即した介護人材確保
策について関係機関と協議し検討
を進めたい。

高木 現場としては特養の不足
感がある。選択肢の一つとして検
討に入れてもらいたい。どう考え
るか。

保健課長 県の整備計画と広域
連合の介護保険事業計画のサービ
ス見込み量を見て、検討したい。

その他の質問

- ▼自転車通行空間の整備・中学
生のヘルメットについて等
- ▼消防団への育休・介護休業導
入について



▲これからの介護を真剣に考える
タイミングでは？



たけなが しげみ
竹永 茂美
議員

子どもたちの不登校に
対する取組は



不登校の背景を多面的、的確に把握し未然
防止、早期発見・対応を実施している



教育長

竹永 子どもをとりまく若者の自
死、虐待防止の取組は。

市長 全国の小中高生の自殺者数
が過去最多なのは、極めて重く受け
とめている。児童虐待防止に、こど
も家庭センター「うきはあと」が重
要な役割を担っている。

竹永 不登校の子どもに対する、
訪問型支援やフリースクール、放課
後デイサービス、ICTを利用した
遠隔教育、FAXを利用した自宅学
習支援に取り組んでいるのか。

教育長 適応指導教室キーノート
に取り組んでいる。

竹永 不登校の子どもが増えてい
る、社協との連携は。

教育長 社協の活動については把
握している。

竹永 子どもたちの環境で一番大
事な教育条件は先生たち。先生たち
が元気で教育するには超過勤務縮減

が課題。教育委員会は「業務管理
健康確保措置計画」を策定し取り組
むのか。

教育長 4月1日までに策定する
準備を進め、教職員の超過勤務削減
に取り組む。

その他の質問

- ▼旧浮羽東高等学校跡地の活用
の現状とガーデンパーク構想につ
いて
- ▼物価高・官公需の価格転嫁へ
の対応について



▲県の支援リーフレット



いわぶち かずあき
岩淵 和明
議員

国保税の
移行計画時期はいつか



福岡県は令和15年度に保険料水準の統一を
予定



市長

【国保税の課題について】

岩淵 段階的な移行の検討とは。

市長 令和8年7月以降、改正
頻度・改正幅について、運営協議
会で計画的に検討を進める。

岩淵 統一保険税の所得割は減
額するが、低所得層は均等割・平
等割が増え、収入に対し税額の逆
進性が強くなる。見直しに際し、
低所得層に手厚いかどうかだけで
はなく、制度の趣旨を活かし健康
的な生活が推進されるよう熟慮を
求める。

市長 低所得層への配慮を求め
る意見もあるが、中間所得層への
緩和も見いだして取り組んでいく。
副市長 医療水準の高いうきは
市に有利な改正方向の統一で、協
議会の場で考えていきたい。

【就学援助認定基準額について】

岩淵 現在の認定基準額は要綱
に示す算定基準とは異なる額であ
り見直しを求める。

教育長 うきは市は国の基準に
準じ就学支援システムを活用し適
切に判定している。十分検証し、
近隣自治体を調査しながら適宜検
討を行う。

岩淵 現在の基準額は要綱に定め
られた基準額ではないと考えるが、
学校教育課長 生活扶助基準額
が扶助額なのか加算を含む最低生
活費なのか意見が分かれている。

その他の質問

▼市営住宅退去費用
について



▲統一保険税の額は
安くなる・高くなる？



くみさか きみあき
組坂 公明
議員

「うきは市の上水道事業」の
今後の方向性は



うきは市の豊かな地下水源を有効活用する
方向にかじを切る



市長

組坂 うきは市として、上水道事
業を今後どのような方向性で進めて
いくのか、市長の認識を伺う。

市長 上水道フル整備は約440
億円という多額の費用がかかり、加
入を希望する市民も多くないと見込
まれ大幅な赤字が想定されることか
ら、フル整備は困難である。基本的
には、豊かな地下水源を有効活用す
る方向にかじを切る。

組坂 水道事業基本計画の策定に
ついて具体的な説明を伺う。

市長 令和7年度が前提となつて
いたうきは市水道事業基本計画の策
定を見送り、新たに地下水を有効活
用していくための基本計画の策定を
令和8年度から進めていく。

組坂 本市は地下水中心で生活が
成り立っており、森林保全等により
「水を育てる市」として地下水利用
は今後も継続可能と考えるが、こ



▲「水をひく市ではなく水を守り育てる市へ」



のづる おさむ
野鶴 修
議員

農業生産基盤を担う
後継者育成のための施策
はあるのか



農業の衰退は地域全体の活力に影響するの
で、着実に対策を進める必要があると考え
ている



市長

野鶴

5年、10年先のうきは市の農業を守るため、改めて「特定地域づくり事業協同組合制度」等を活用しての、農業生産基盤組織の設立と運営について、真剣に検討していただきたいと思っています。

市長

担い手確保と生産基盤の維持が重要な課題である中、本制度は選択肢の一つと考えているが、農業の繁閑期を補完できる他業種との連携が前提である。市内各業界のニーズ把握や事業者間の調整など、慎重に検討すべき課題が残されている。関係機関と情報共有を図りながら、引き続き研究をしていきたい。



▲後継者や担い手不足が深刻な農業

できるようにしていくためにも、特定地域づくり事業協同組合を設立する必要性が大きい。

市長

組合としてきちんと持続的に運営できるための様々なリソースが必要だと思っている。どのような形でこういったものができるかということについては、今後しっかりと研究していきたい。



さとう ひろのぶ
佐藤 裕宣
議員

上水道整備事業の進展は



地下水を有効活用する方向へ



市長

佐藤

議会、住民への説明も含めて、タイムスケジュールを作成し計画的に前に進めるべきではないか。

市長

上水道基本計画は見送り、地下水を活用する基本計画の策定を進める。進捗は議会や市民に報告し、具体的なスケジュールを示していく。

佐藤

安定的で安全な水の供給に至るのか概要の説明を。

副市長

先進的な事例を参考に、定期的な水質モニタリングのやり方・頻度・予算等を研究していく。また、水質の悪いところや水の出にくいところの簡易水道の整備についても勉強していく。

【コミュニティスクールについて】

佐藤

コミュニティスクール制度の意義と必要性についての見解を。

教育長

子どもの学習支援や学校支援、地域活動等といった地域学校

共同活動を一体的に推進する事が、コミュニティスクール制度が持つ意義だと考える。

佐藤

制度導入についての見解は。

教育長

浮羽町域の小・中学校が再編されることになれば様々な問題解決と併せて、コミュニティスクールの設置も検討する事になると考えている。

その他の質問

▼浮羽研究真館高校支援策



▲小石原川ダム

総務産業常任委員会

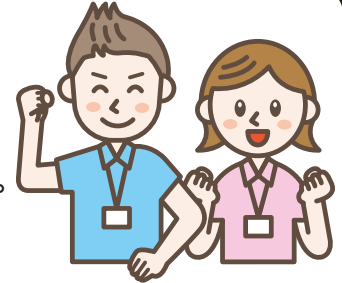
委員会調査報告書 ▶



地域おこし協力隊制度の現況について 令和8年2月5日(木) 実施

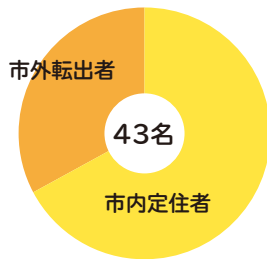
うきは市の「地域おこし協力隊」は令和7年度で12年を経過します。平成26年度から累計56人を任用。43名が任期を終了し、市内定住者は28名、市外転出が15名で、市内定住率は67%との報告がありました。(全国は56%)

現在13名の協力隊員がミッション(果たすべき役割・任務)に従事しています。令和8年3月でミッションを終了する隊員2名と、現在業務進行中3名の方に、成果を発表する機会を設け、活動内容と成果について報告会を実施しました。

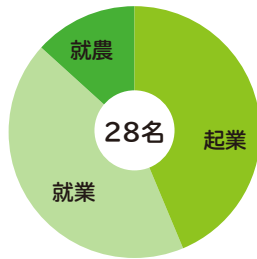


地域おこし協力隊？

都市部から過疎地などの地方に移住し、報酬をもらいながら活性化支援を行う総務省の制度。



定住状況について



就職状況について

令和6年度までに任期終了した隊員
(任期終了から1年間まで)

任期終了後の隊員の動向

▶就業

- ・行政関係(自治体職員、集落支援員) 2名
- ・観光業(旅行業、宿泊業等)..... 1名
- ・農林漁業(農業法人、森林組合等).... 1名
- ・地域づくり・まちづくり支援業..... 2名
- ・小売業..... 1名
- ・製造業..... 2名
- ・コンサルタント業..... 2名

▶就農・事業継承

- ・果樹栽培(ぶどう・柿等)..... 3名
- ・ハウス栽培(とまと)..... 1名

▶起業

- ・観光業(旅行業・宿泊業等)..... 2名
- ・地域づくり・まちづくり支援業
(集落支援、地域ブランドづくり支援) 2名
- ・美術家(デザイナー・写真家等)..... 1名
- ・小売業..... 4名
- ・飲食サービス業..... 1名
- ・その他(林業・木材関係)..... 2名

委員からは、総合計画の中で「結果」がどのように活かされているか、との質疑がありました。引き続き、「地域おこし協力隊事業」を活用して地域活性化・振興を図るとすれば、12年間の「活動・成果」について、分野別に、政策課題として整理する必要があります。また、市民への更なる理解が広がるよう、周知方法の見直しが必要と考えます。

浮羽地域営農4法人との意見交換会 令和8年2月10日(火) 実施

平成22年・24年に、地域農業振興の担い手として4営農組合法人が誕生し、耕作地を借り受け、農業経営を行っています。意見交換会では、以下のような意見が出ました。

- ① 担い手の若い専従者が必要で、各法人への人的・財政的支援が必要
- ② 大区画化のための基盤整備には、地元負担金の算定と財政的支援等が必要
- ③ 連合化による飛び地対策は、どこの土地を対象とするか共通認識が必要

所見

引き続き課題を協議する場が必要です。議会からも「政策提言」につなげる取組が必要と考えます。

厚生文教常任委員会

委員会調査報告書 ▶



テーマ：浮羽究真館高校活性化支援策

報告1 在校生アンケート

(1年生107名・2年生93名・3年生22名・合計222名)

Question 進路選択時、浮羽究真館高校を選択した理由は？

Answer ①コース(18%) ②通学距離(14%) ③部活動(13%)
次いで偏差値、友人、先輩からの口コミなど

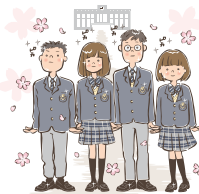
Question 市が支援を行うなら、どんな支援をしたらもっと魅力的な学校になる？

Answer ①食堂・売店に関するもの②交通手段の改善③学校イベントの補助。
次いでグラウンドの整備、学校設備への補助。

報告2 生徒有志との意見交換会での意見を *Pick Up!*

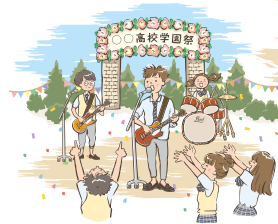
入学後の実感！

勉強やイベント、学校の雰囲気が良い。部活動が盛ん。
2年生で選択できるコース制はやはり良い。
市外から通学しているが公共交通が不便で親が車で送迎している。活用しやすい交通手段があると良い。
入る時は知らなかったが、指定校推薦が多い。



市が支援するなら？

学食の復活。交通手段の充実。各種イベント(文化祭・体育祭)の宣伝、小中学校へもっとお知らせ、自転車通学の道路整備、模試代や参考書代・通学費の補助など。



POINT

- ✔ 高校としての魅力向上に直結する事業や生徒ニーズを満たす事業が必要とされるのではないかと
- ✔ 将来の「うきは市の担い手」としての回帰性を高めるためにも、地域との連携・市民の理解が前提となるのではないかと

所見

- ① 通学費補助は実証事業的な位置づけとし効果検証すべきである。また経済的支援については平等性・公平性の観点から市外通学生徒へも行うべきだ。
- ② 卒業応援金は高校活性化支援策としては不相当である。相当額で高校生活充実のための事業実施を求める。
- ③ 高校活性化支援のための協議体づくりについて、立地自治体として関与していくために、市が一翼を担うことを求める。

議会改革特別委員会



▲委員会
調査報告書



うきは市議会は市民の信頼を得る議会、市民に開かれた議会とするために、議会改革について調査・審議した。

1 うきは市議会基本条例及び委員会規則、申し合わせ事項等

議会基本条例や委員会規則、議会運営に関する申し合わせ事項等について、議会活動の実態に即した内容へと変更を行った。

* (発議第1号) 令和5年3月22日 うきは市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について

2 政務活動調査費等

2013年の地方自治法改正に合わせて「調査研究その他の活動」と調査研究と調査研究に係るその他の活動とした。また、交通費の規定を市の職員に準じることとした。

～「政務活動調査費使途基準マニュアル」について～

- ① 書籍・新聞等の購入について
新聞等の購読料は一切認めないこととした。書籍等については、議員活動として使用したことがわかる資料や活動実績（一般質問等）を示すこととした。
- ② 一般質問における資料添付の印刷費やコピー代は領収書等の添付の上認めることとした。
- ③ 行政視察については、「出張調査届書」「出張調査報告書」、自家用車で行く場合は「自動車運行記録簿」の提出を義務付けた。

※ 「政務活動調査費使途基準マニュアル」については、関係条例や規則の継続審査が必要である。

※ 議員定数及び議員報酬は現状維持

議会運営委員会

(議会評価、議会基本条例)



▲委員会
調査報告書

議会基本条例の目的が達成されているかどうかを検証した。

1 議会基本条例の検証結果

●情報発信の在り方

『議会だより』については、より見やすいように改善されているが情報発信、広報広聴の在り方については、今後検討していくべき大きな課題である。

●政策提言、政策立案の強化

調査研究をもとに政策提言を積極的に行っていく。

●評価時期の見直し

議員の任期開始2年後に、評価を行う。

2 議会評価

評価は達成 (A)、一部達成 (B)、未達成 (C) の3段階評価とした。その結果は、うきは市議会ホームページを参照されたい。

生活基盤（上水道、ごみ問題）対策特別委員会

市民生活に直結した生活水及びごみ・し尿処理対策について、市執行部と連携して調査・検討を重ねた結果及び今後の方向性

1 上水道整備に関する報告

平成14年に議会の同意を得て、「小石原川ダム」への参加を表明し、ダム整備に12億円を投じ、5,740トン/日を確保して令和2年4月から供用を開始した。

平成27年7月「上水道事業に関するアンケート」の結果、「速やかに加入」は全体の10.9%に留まっている。令和5年に事業費用の再算定では50年間の総事業費は440億円と推計され、毎年7億円の支出が必要となる。水質検査の結果、飲用不適の結果の方は浄水器購入の助成、また不適な地域においては簡易水道整備などの対策を検討する必要がある。



(小石原川ダム)



(富永簡易水道施設)

～うきは市飲料水戸別確保補助金～

水質悪化等で飲料水にお困りの方に対して水質改善のために浄水器を設置する場合、必要な経費の一部補助



▲ 詳しくはこちら

補助要件

- 水質検査の結果、飲用不適の結果の方
 - 水質悪化を改善するために設置する浄水器が対象
 - 補助金交付決定前に設置されたものは対象となりません。
- ※ 飲料水にお困りの方で、申請を検討中の方は水環境課へご相談を。





2 ごみ処理等に関する報告

久留米市がごみ処理からの離脱後、令和10年以降の耳納クリーンステーションについては、当分の間、単独で運営しながら広域処理を目指す必要がある。そのためには、地元7行政区ひいては市民全体の理解により、継続して使用できることが必須の要件となる。

※今後、久留米市と交わす施設財産等の清算とともに、処理施設をゆだねる交渉など重要な局面を迎える。

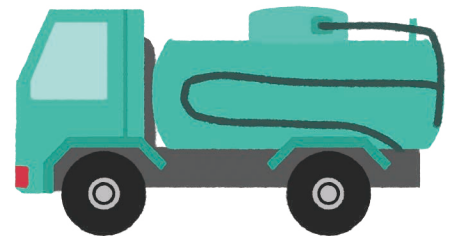


(耳納クリーンステーション)

3 し尿等の処理方針・検討報告

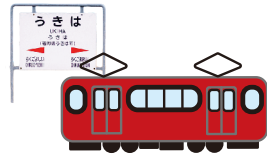
久留米市は当初、ごみ・し尿ともに環境施設組合を離脱する予定だったが、し尿処理のみ当分、継続することとなった。現在の耳納衛生センターは、稼働から30年経過し全体が老朽化しており機能確保の施設整備が必要である。

うきは市は令和5年に専門業者に委託した「生活排水処理施設整備構想」に基づき、し尿を収集・運搬、前処理（前処理設備）を経て下水道終末処理に投入する方式を計画している。



(耳納衛生センター)

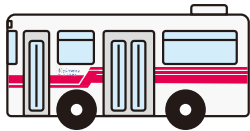
市民の声



子どもが中学三年生になり、高校受験を経験しました。高校の選択肢が広がったことはとても良いことだと思いますが、実際に進学先を考えると通学のことが大きな悩みになります。公共交通機関の本数が少なく、通学時間や乗り継ぎを考えると、希望する学校があっても簡単には選べないと感じることがありました。

また、塾や習い事などで市外へ通う場合にも交通の不便さを感じます。移動手段が限られているため、家庭の送迎に頼らざるを得ないことも少なくありません。

子どもたちの進路や学びの選択肢は広がっていますが、交通事情によってその可能性が左右されてしまう現状には、もどかしさを感じます。住む場所に関わらず、子どもたちが安心して通学し、自分の将来の可能性を広げていける環境が整うことを願っています。



うきは市浮羽町在住
高校生保護者



4年間お世話になりました!

議会を傍聴しませんか。

- ▶ 6月の議会定例会は
6月12日(金)開催予定です。
- ▶ 一般質問は
6月15日(月)・16日(火)の予定です。
- ▶ 6月議会への請願書・陳情書は、6月2日(火)
正午(予定)までに提出して下さい。



Youtube のライブ配信や
録画配信でもご覧いただけます。



監査委員を終えて

2年前、市の監査委員を命ぜられました。代表監査委員の横に座し、該当課の施策等の取組を確認させていただく「内部監査」を行ってまいりました。

特に市役所内の業務や統制環境をチェックし、効率化・リスク低減・統制強化を図る等の目的で取り組みました。

本来ならベテラン層が果たすべきポジションに着かせていただき、様々な業務に横たわる問題・課題解決に挑戦する思いで臨みました。

実施した効果は、今後の業務改善へ反映されることを願うばかりです。

実施の際、ご協力いただいた市役所内外関係者の皆様には大変にお世話になりました。心から感謝を申し上げます。

議選監査委員 樋口 隆三



編集後記



春は卒業や旅立ちの節目であり、また新たな出会いが芽吹く季節です。

さて、令和8年3月定例議会では、市民生活に直結する課題について活発な議論が交わされ、総額184億3900万円の新年度予算案などが可決されました。

中でも、浮羽町域の学校再編基本構想については、子ども達のよりよい学びの環境を確保するために、将来を見据えた判断の重要性を改めて感じております。

別れの先に新たな出会いがあるように、新たな取組が次の時代へとつながっていくことを願い、今後も市民の皆様とともに丁寧な協議を進めてまいります。

(熊懐和明)



発行責任者
議長 江藤 芳光

広報広聴委員会

委員長 熊懐 和明

副委員長 組坂 公明

委員 岩淵 和明

竹永 茂美

高松 幸茂

高木 亜希子

議会事務局

TEL.75-4990

FAX.75-3342